

発刊にあたって

平成14年度から始まった「わがまち探険講座」が、「皆賀の歩みを探る会」の方々の、3年という長い年月と、ご苦勞のもとに、冊子「皆賀のあゆみ」として発刊できる運びとなりました。

「皆賀の歩みを探る会」の皆様にご敬意を表するとともに、心からお喜び申し上げます。

私が今年4月に皆賀公民館に赴任してから、皆様方と一緒にさせていただきましたが、日ごろからの郷土を愛する心、皆賀の歴史を後世に伝えたいという強い思いは「皆賀のあゆみ」に熱く投影されております。

このようなすばらしい冊子ができあがった年に、館長として皆様とともに完成の日を迎えられましたことは、喜びにたえません。

皆様の思いのこもった「皆賀のあゆみ」は、きっと、今後の地域の発展と郷土を愛する心につながっていくものと確信しております。

さいごに、この講座に携われた「皆賀の歩みを探る会」の皆様をはじめ、資料を提供してくださった方々や関係者各位に対して、深く感謝申し上げます。

皆賀公民館 館長 住居 与作

発刊をお祝いして

発刊をお祝いして

このたび、皆賀の歩みを紹介した冊子が、皆賀公民館における「わがまち探険講座」の活動成果として発刊の運びとなりましたことを、地域の皆様と共に心からお祝い申し上げます。

私事で恐縮ですが、皆賀公民館の職員として平成12年度から15年度にわたり、地域の皆様と楽しく充実した公民館活動に取り組むことが出来ました。その中で「わがまち探険講座」は、佐伯区の魅力づくり事業と連携して、平成14年度の開講に併せて発足しました「皆賀の歩みを探る会」の皆様の熱心なご活躍により、たいへん思い出深い講座となりました。いま振り返っても、当時の楽しい講座のようすが、懐かしく思い出されます。

始めに講座の内容を検討した企画会議では、公民館としては余り負担のかからない、皆賀を紹介するマップの作成を考えていましたところ、参加者の方々から、『せっかくの機会なので、子ども達に皆賀の歩みを伝えることをめざし、冊子を作成しようよ』ということになりました。

その後、探る会の方々がそれぞれの得意分野を担当され、また地域の皆様からの貴重な写真提供などにより、しだいに「皆賀の歩み」の内容が充実されてきました。

平成15年度末、冊子の目次がほぼまとまりかけ、いよいよ来年度は冊子の完成という時期に、異動で皆賀公民館を去ることになり、異動後も、いつ・どのような内容の冊子が完成されるか心待ちにしていました。

待望の冊子は、探る会の皆様がふるさと皆賀を思い、各自の得意分野をいかして、今日までの長い期間にわたり取り組まれた苦労と努力の結晶の賜物と思います。皆様のすばらしい活動に対して、改めて感謝を申し上げ、敬意を表します。

なお、始めの企画段階からこの取り組みを大変喜ばれ、講座では色々なアイデアを出され、何かと盛り上げていただき、また地域の皆様からも慕われていた福永春雄様が、病により完成を待たずに急逝されましたことが、かえすがえす残念でなりません。私以上に冊子の完成をお喜びのことと思います。

終わりに、この冊子がふるさと皆賀を理解していく上で活用され、郷土を愛するきっかけになることを願うと共に、「皆賀の歩みを探る会」の皆様の益々のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

段原公民館 館長 綾部 光治